

勿凝学問 299

党対政府の 21 世紀の西南戦争

2010 年 4 月 11 日

慶應義塾大学 商学部

教授 権丈善一

参院選前の与党マニフェストの修正について、党と政府が対立していることが、巷間を賑わせている。今朝の NHK の日曜討論もそうだった。

これについては、以前から僕は次のように説明している。政府に入って、このマニフェストは実行できないことを痛感している与党議員は、岩倉使節団に参加した人たちのようなもの。そりゃあ、帰国組の政府と居残り組の党では、マニフェストの修正を巡って対立が起こるさ・・・まあ、西南戦争だな。

ところで、この 21 世紀の西南戦争、党の方が政府よりも力をもっていそうで、歴史と違って西南軍の勝利で終わりそうなんだよねというのが、この話題のオチでもある。

なお、政府に入らずとも、あのマニフェストは実行不可能なこと——定義上、実行できない公約はマニフェストではないんだが——は分かっていたはずである。野党時代の彼らに欠けていたのは、決して情報ではなく・・・。

それにしても、民主党支持の学識者を探すのは、今は、それほどに難しいことになっているのかというのが、今朝の日曜討論をみての感想でもある。

追記

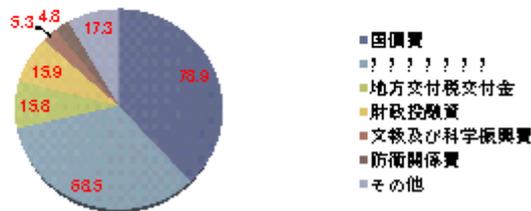
2010 年 9 月 2 日の HP への書き込み

そう言えば、昨日、参議院政策秘書研修会で、「ウソのような本当にあった話」コーナーで紹介したことが、今日の民主党代表選の中で、また言われていたな(笑)。

ウソのような本当にあった話

- ▶ 「一般会計と特別会計を合わせた予算総額207兆円のうち、1割の無駄の削減で20兆円の財源は生み出せる」

国の純支出(一般会計と特別会計を合わせたもの:兆円)



ちなみに、僕の講義には、「ウソのような本当にあった話」というのがいくつも出てくる。多くは、現与党が、野党時代に言っていた放言がネタ元なのだが、あの手のウソ話は、まだ過去形になっていなかった模様。懲りないねえ、この国は。

なお、「勿凝学問 299 [党対政府の21世紀の西南戦争](#)」の読者から、6月に、21世紀の西南戦争は政府軍が勝ったということですかと問われたとき、僕の回答は——19世紀の西南戦争は敗軍の将は自刃したが、21世紀は生きてるから、まだ分からんよ。

最後に、昨日の参議院政策秘書研修会で話した、この国の政党は政党の体をなしていない、ひとつの党の中に憎しみあっている者たち、財政に関して正直に語っている者とそうでない者が一緒にいてどうすんだ、という話は、次をご参照あれ。まあ、今の動きは、順調に分裂に向かっている動きと前向きに評価はできるけどな。

- 勿凝学問 312 [まともな野党が生まれてきたというこの国の好機——政権交代の意義は、やっぱり、バカな最大野党がいなくなったことなんだよ](#)
- 勿凝学問 257 [小選挙区とは一神教だよ](#)